

# 明延鉱山が「近代化産業遺産」に認定されました

このたび、経済産業省は、日本の産業の近代化を支えた土木、交通などに関する建築物や構造物などの「近代化産業遺産」について地域史、産業史を軸としたストーリーを「近代化産業遺産群33」として取りまとめました。

昨年11月30日、横浜赤レンガ倉庫1号館で開催された「地域活性化のための近代化産業遺産認定・プレード授与式」（経済産業省主催）において、これらのストーリーを構成する全国575件の近代化産業遺産を

認定。養父市からは、明延鉱山の「探検坑道」、「明神電車と蓄電池機関車」、「第一浴場」が近代化産業遺産に認定されました。

明延鉱山は、「わが国の鉱業近代化のモデルとなった生野銀山などにおける鉱業の歩みを物語る近代化産業遺産群」としてまとめられ、外国人技術者を招へいし、鉱山の近代化を図り、近代鉱山の普及に大きな役割を果たしたことが高く評価され、認定されたものです。



▶明延鉱山探検坑道



▶明神電車と蓄電池機関車



▶明盛共同浴場「第一浴場」

# 道の駅ようか但馬蔵が「手づくり郷土賞」を受賞

多くの方が訪れています。

受賞にあたっては、県立但馬農業高等学校との産学連携のほか、車いすでも利用できる足湯施設を整備するなど、ユニバーサルデザイン（あらゆる年齢や性別、体型、障害の有無にかかわらず、誰にでも使いやすいデザイン）の考え方が評価されました。

今後、北近畿豊岡自動車道のインターチェンジが整備されることで、より多くの方の利用が見込まれます。



地域の個性や魅力を創出する施設やまちづくり活動を表彰する国土交通省の「手づくり郷土賞」の認定証授与式が、昨年12月21日に大阪市で行われ、「道の駅ようか但馬蔵」が同賞を受賞しました。

昨年3月にグランドオープンした「道の駅ようか但馬蔵」は、道の駅と地域産業振興の機能を併せ持ち、道路交通情報の提供をはじめ、地元で収穫した新鮮な農産物の直売や特産品を販売するなど、オープン以来



▶ドライブの疲れを癒す足湯施設